



すべての幼稚園が良質な 幼児教育機関として運営できる体制を

(公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

理事長 田 中 雅 道

子ども子育て支援新制度が平成 27 年度から実施される状況下、私立幼稚園だけがその渦の中に巻き込まれ、十分な判断材料も提供されないまま決断を迫られています。施設型給付に移行するのか、私学助成で残るのか判断に迷うところですが、それぞれの地域において幼児教育を安定的に提供できる施設は絶対的に必要であり、その中核を私立幼稚園が担わなければならないということに変わりはありません。施設型給付最大の問題点は 4・5 歳児の給付が少なく、3・4・5 歳児を対象とした幼児教育のみを行うという機関を決断した場合、施設型給付では運営に困難を伴うような制度になっていることです。乳児に対する制度はどうあるべきなのかの議論があった訳でなく、まして、幼児に対してどのような教育環境が必要かという視点での議論なく、1・2 歳児を入れないと運営できないという制度のみが先行実施されることが、「日本の学力低下を招くのではないか」という懸念を抱くのは私だけではないと思います。

言うまでもなく、幼児期の教育は環境を通して行うことを基本としています。このことは、幼児期の学びが、抽象的思考で確立されるものでなく、体験を通して確立されるということに、その基盤を置いているからです。幼児教育がどのような環境を担保しなければならないのかといった視点は、小学校以降の学力形成に大きな影響を持って

くるのです。OECD 先進諸国は、従来の知識偏重型学力観から、問題解決型学力観を確立し、その学力観を元に PISA 学力テストを実施し、それぞれの国の義務教育以降の学力育成のために、幼児教育の充実を起点とする学力観の育成を重要課題として取り組んでいます。世界がこのような問題意識を持って行動を始めている中、日本は私立幼稚園の善意を基盤としてその学力観を維持するという構造から脱却できていません。幼児教育に携わる者の待遇改善、良質な環境の確保という基本事項が新しい制度で提案されていないことには大きな危惧を感じます。

そのような中でも、私立幼稚園は日本の子どもたちのためにしなければならない課題を、それぞれの地域に合わせて取り組んでいく姿勢を維持していかなければなりません。どの制度が有利で、どの制度が不利だといった議論でなく、全ての幼稚園が良質な幼児教育機関として運営できる体制をいかに確立していくかが最も重要な課題です。全ての幼稚園が安心して幼児教育に打ち込めるよう、本機構が少しでもサポートしていくとともに、幼児期にどのような環境が必要なのか、なくしてはならないものは何かとすることを実証的に現場の立場から発信していけるよう努力していきたいと考えています。

(京都府京都市・光明幼稚園)

委員会委員長・委員構成など議決

6月6日、東京・私学会館において常任理事会が開催され、29人が出席しました。

香川敬会長のあいさつの後、議長に村山十五副会長、議事録署名人に川畠教孝常任理事、岡本壮二常任理事が選任されました。

■審議案件1：委員会委員長選任の件

香川会長より各委員会委員長に、総務・田中辰実氏（石川）、政策・坪井久也氏（香川）、教育研究・安達讓氏（大阪）、経営研究・橋本幸雄氏（茨城）、広報・四ツ釜雅彦氏（埼玉）、102条園・葉本喜信氏（東京）、認定こども園・森迫建博氏（宮崎）の先生方をお願いしたいとの提案があり、提案通り議決しました。

■審議案件2：委員会委員構成の件

田中総務委員長から各地域の報告による委員会委員候補者一覧をもとに、各委員会委員候補者が提案されました。地域ごとに委員の調整を行った後、各委員長から委員の推薦が行われ構成員を議決しました。

■審議案件3：検討会議設置の件

尾上副会長より「組織強化検討会議」と「幼稚園制度検討会議」の会議の設置について提案があり、提案通り議決しました。メンバーについては地区長で構成することとし、その後、地区ごとに協議が行われ、組織強化検討会議は神奈川地区、東海北陸地区、近畿地区、中国地区、九州地区。幼稚園制度検討会議は北海道地区、東北地区、関東地区、東京地区、大阪地区、四国地区で構成し、座長やその他の専門委員については会長に一任することが確認されました。



■審議案件4：顧問委嘱の件

田中総務委員長から資料をもとに説明が行なわれ、香川会長より全日私幼連前会長の吉田敬岳氏に全日私幼連の顧問を委嘱したいとの提案があり、提案通り議決しました。

■行政報告：蝦名喜之文部科学省初等中等教育局幼児教育課長から「私立幼稚園の新制度への移行に関する意向調査の実施」について説明が行われました。

■協議事項1：平成26年度政府予算対策方針について

田中総務委員長から資料をもとに説明が行われました。

尾上副会長の閉会のあいさつで本常任理事会を閉会しました。

（総務委員長・田中辰実）

全日私幼連 常任理事会構成員一覧

(平成 26 年 6 月 6 日現在)

職名	氏 名	幼稚園
会 長	香川 敬	山 口・鞠生幼稚園
副会長	北條 泰雅	東 京・みなと幼稚園
副会長	澤田 豊	北海道・リリー文化幼稚園
副会長	村山 十五	宮 城・村山学園
副会長	田中 雅道	京 都・光明幼稚園
副会長	尾上 正史	福 岡・紅葉幼稚園
専務理事	小林 弘明	
北海道 東 北	川畠 教孝 坂本 洋 関 章信	北海道・旭川あゆみ幼稚園 岩 手・盛岡幼稚園 福 島・福島めばえ幼稚園
埼 玉 東 京	磯 哲也 入谷 幸二 友松 浩志	埼 玉・ながせ幼稚園 東 京・徳持幼稚園 東 京・神田寺幼稚園
神奈川 関 東	小澤 俊通 原 徳明 石嶋 勇	神奈川・厚木田園幼稚園 群 馬・長野幼稚園 栃 木・すずめ幼稚園
愛 知 東海・北陸	前田 邦光 水田 泰賢 上田 雅裕	新 潟・真人幼稚園 愛 知・名古屋橋幼稚園 富 山・第二あおい幼稚園
大 阪 近 畿	相田 芳久 安家 周一 松下 瑞應	静 岡・焼津豊田幼稚園 大 阪・あけぼの幼稚園 和歌山・湯浅幼稚園
中 国	岡本 壯二	岡 山・あさひ幼稚園
四 国	志内 正一	徳 島・さゆり幼稚園
九 州	土居 孝信 園尾 憲一	大 分・双葉ヶ丘幼稚園 鹿児島・竹の子幼稚園
総務委員長 政策委員長 教育研究委員長 経営研究委員長 広報委員長 102 条園委員長 認定こども園委員長	田中 辰実 坪井 久也 安達 譲 橋本 幸雄 四ツ金雅彦 葉本 喜信 森迫 建博	石 川・ちよの幼稚園 香 川・やしま幼稚園 大 阪・せんりひじり幼稚園 茨 城・栄幼稚園 埼 玉・菖蒲幼稚園 東 京・足立双葉幼稚園 宮 崎・富高幼稚園
監 事 監 事 監 事	町山 芳夫 田中 邦昌 原 孝枝	東 京・まどか幼稚園 静 岡・みのる幼稚園 徳 島・白うめ幼稚園

理事長・園長・副園長・主任…保育現場をマネジメントするすべての保育者のために

園の未来をデザインする 保育ナビ

月刊保育雑誌

定価:本体価格926円+税
B5判 72ページ

8月号の主な内容

特集 リーダーとして「研修」をどうコーディネートするか

- 園の未来が見えてくる 保育の夜明け
ビデオ映像を活用した子どもの見取りと、園内研修の質の向上
- 国の動きを読む! 研究者の目
幼保連携型認定こども園教育・保育要領とは
- ここをチェック! 園の防災対策・危機管理
雨(ゲリラ豪雨・台風など)対策
- 人事・労務Q&A:残業・残業代 ほか

・人材育成の連載が充実!
・ホームページ連動企画
もお楽しみに!



ISBN978-4-577-81358-4 728

ご注文・定期購読のお申し込みは下記まで
03-5395-6608 営業推進部

本社:〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>

キンダーブックの
フーベル館

東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会 顧問会議

顧問に香川敬会長が就任

(一財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、6月5日第3回理事会において、幅広く各界から助言をいただくことを目的に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会顧問会議を設置することを決め、その顧問会議のメンバーとして全日本私立幼稚園連合会の香川敬会長が就任しました。

症等への健康被害に対して配慮を行う。

※2014年度夏季の需給見通しにおいて、節電の定着分(2010年度最大電力比)として以下の数値を見込んでいる。これらは節電を行うに当たっての目安となる。

北海道電力管内 ▲7.1% 東北電力管内 ▲4.3%
東京電力管内 ▲11.7% 中部電力管内 ▲4.1%
関西電力管内 ▲8.5% 北陸電力管内 ▲4.4%
中国電力管内 ▲3.6% 四国電力管内 ▲5.2%
九州電力管内 ▲9.2%

②節電協力要請期間・時間帯

2014年7月1日から2014年9月30日までの平日(ただし、8月13日から15日までを除く)の9時から20時までの時間帯とする。

2014年度夏期電力需給対策

平成26年5月16日に開催された政府の電力需給に関する検討会合において「2014年度夏季の電力需給対策」について決定しました。

◎節電協力要請(数値目標は設けない)

①現在定着している節電の取組が、国民生活、経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で確実に行われるよう、節電の協力を要請する。節電協力要請に当たっては、高齢者や乳幼児等の弱者、熱中

全日私幼連 設置者・園長全国研修大会

全日私幼連の第30回設置者・園長全国研修大会は、来る10月20日(月)・21日(火)の2日間にわたって、香川県高松市(JRホテルクレメント高松)で開催します。研修会の内容等の詳細につきましては、決まり次第あらためてご案内いたします。



優れた芸術家の作品を、
子どもたちの生活環境へ。
見て、触れて、感じながら、
子どもたちの心は、
大きく羽を広げます。

「喜ぶ少女」

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

河村建夫会長を再選

平成 26 年度事業計画・収支予算などを決議

7 月 2 日 東京・私学会館

7 月 2 日、東京・私学会館において全日本私立幼稚園 P T A 連合会の平成 26 年度委員総会が開催され、委員約 7 0 人が出席しました。

山本順三・全日私幼 P 連副会長の開会のあいさつに続いて、河村建夫・全日私幼 P 連会長、香川敬・全日私幼連会長からあいさつをいただきました。

その後、議長に山本宗五郎・全日私幼 P 連副会長を選出し議事に入りました。

議事では、議題①平成 25 年度事業報告・収支決算の件 ②会務監査報告 ③平成 26 年度事業計画案・収支予算案の件——について執行部から詳細な提案があり、満場一致で議決されました。

議題④役員改選の件では、会長に河村建夫氏（山口県）の再選が満場一致で議決されました。副会長には遠藤利明氏（山形県）、山本順三氏（愛媛県）、岡澤邦幸氏（北海道）、金重光江氏（埼玉県）、月本喜久氏（東京都）、山本宗五郎氏（滋賀県）、松本ひとみ氏（鹿児島県）が選任され、満場一致で議決さ



れました。

議題⑤平成 26 年度・P T A 全国大会について、坪井久也・全日私幼連政策委員長より説明がなされました。

金重光江・全日私幼 P 連副会長の閉会の挨拶があり、本総会を終了しました。

選ばれる園になるために
変革のビジョンと実践
22 例

こども園への移行？ 0・1・2 歳児保育を導入？ 保育の質の向上は？

選ばれる園になるために

～変革のビジョンと実践 22 例～

保育施設の未来がこの本に！

保育施設の“機能と質”を考える。
22 園の変革ビジョンとプロセスを一挙公開。

私立幼稚園経営者懇談会・著

248 ページ／税込 4,320 円

世界文化社刊／4061301

株式会社 世界文化社 ワンダー営業本部

TEL：03-3262-5128 FAX:03-3262-6121

私学事業団からのお知らせ

健康診断の結果の提出をお願いします

今年度の特定健康診査等のご案内は、6月下旬に送付しました。
事業団では健康診断の結果により、生活習慣病のリスクのある方に、生活習慣改善応援プログラムとして「特定保健指導の利用券(費用無料)」を送付します。
皆様の健康を守るためにも、ぜひ健康診断の結果の提出にご協力をお願いします。

健診結果の
**第1回提出期限は、
9月30日**です。

健康診断を
受けました!!



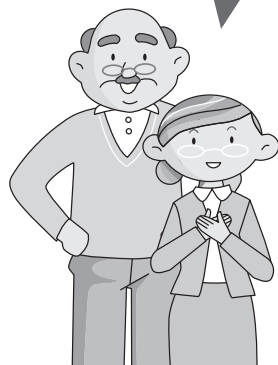
幼稚園で実施した健康診断の結果（加入者分*）を事業団に提出してください。



冊子「QUPiO（クピオ）」で
あなたの結果内容に合った
健康情報をアドバイス

* 事業団への結果の提出は加入者分のみです。
被扶養者分は、受診した医療機関から事業団へ報告されます。

もしも、メタボ
だったらどうしたら
いいの？



「QUPiO（クピオ）」
と一緒に、「特定保健
指導利用券」を送付
します！



「利用券」を使って、医療機関
で、生活習慣を改善するための
面談を無料で受けられます。
無理のない範囲で、生活習慣
を見直しましょう。

日本私立学校振興・共済事業団
福祉部 保健課 健康管理係

〒113-8441 東京都文京区湯島1-7-5
電話 03 (3813) 5321 (代表)
FAX 03 (3812) 8775

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

公開保育コーディネーター養成講座開かれる

6月20日 東京・グランドヒル市ヶ谷



去る6月20日、東京都新宿区のグランドヒル市ヶ谷において、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の「公開保育コーディネーター養成講座」が開催されました。

(公財)全日私幼研究機構では、文部科学省委託事業「幼児教育の改善・充実のための実践的調査研

究」において、平成25年度「私立幼稚園における学校評価実施支援システムに関する研究～自己評価、課題の解決等に対する支援を行う評価者の養成～」に取り組み、成果をあげることができました。今回の養成講座は、全国から81名の先生方が受講しています。養成講座の概要は次の通りです。

○オリエンテーション

- ・趣旨説明
 - ・公開保育を活用した評価の流れの概要
- 研究研修委員長 安達 譲

○事前講義

講師：大妻女子大学家政学部児童学科教授 岡健

○質疑応答

最後に、安家周一副理事長からあいさつがあり閉会となりました。



季節を感じて
作って楽しむ!

ポット編集部 編
定価1,944円(税込)
26×21cm/96ページ
発行・発売 チャイルド本社

新刊

アイデアいっぱい!
季節&行事の
製作あそび

こいのぼり製作をはじめ、七夕、いも掘り、作品展、クリスマスなど、幼稚園や保育園で欠かせない、季節と行事の楽しい製作のアイデアがいっぱい!
製作活動の目安となる年齢表示付きです。

「全日私幼連 PTAしんぶん」には 子育てのヒントが満載です ぜひ ご活用ください

調査広報委員会で編集発行している「全日私幼連 PTAしんぶん」に寄せられた保護者の皆さまからのお便りをご紹介します。

「子どものしあわせを願う親と先生のひろば」として、その役割を果たしている「全日私幼連 PTAしんぶん」をぜひご活用ください。

(調査広報委員会)

★ ★ ★

子どもとの接し方を考えるきっかけ

幼稚園でこのような新聞があることに驚きました。そして子どもが通っている園の先生のお話載っていることにまた驚きました。先生のお話は子どもとの接し方を見つめ直すきっかけになりましたし、「早寝・早起き・朝ごはん」のお話はとても興味深く、今後も規則正しい生活習慣を心がけようと改めて思いました。これからも有益な情報を載せて頂きたいです。子育てに活用したいと思える新聞でした。

(北海道保護者)

我が家の生活習慣を見直します

今月のPTAしんぶんでは生活習慣の見直しを考えさせられました。親の都合で遅く寝てしまう傾向がある我が家は反省点が多いです。おべんとうコーナーは栄養が重視されていてとても参考になります。

(東京都保護者)

橋本聖子さんの記事に共感

長男が入園してから、現在年長の次男まで7年間PTAしんぶんを読んでいます。今月号は、橋本聖子さんの“病気は人の心を強くし、ケガは体を鍛えてくれます”という言葉が心に響きました。

今月末に主人が入院・手術を控えており、子どもたちも小さいながらも心配を抱えているようです。家族でこの大事を乗り切れることをプラスに考えて、私たち夫婦も子どもたちにとっても強くなるステップとして前向きにがんばろうという気持ちを新たにすることができました。ありがとうございます。

(東京都保護者)

ためになるPTAしんぶん

こどもがまんなかPROJECTの記事にとっても魅かれました。PTAしんぶんをいただくといつもじっくり読ませていただいております。年間250円なのでこれからも継続して読みたいです。ためになる情報が多くていいなと思います。

(静岡県保護者)

書面で読むことの大切さを知る

今年の春から息子が幼稚園の2歳児保育に通わせていただいています。そのため、今回初めてこのPTAしんぶんを拝見しました。

子育てをしているといろんな方の言葉が、いろ

子どものしあわせを願う親と先生のひろば

んな価値観や考えのヒントになり、改めて有難く
 思います。ネットの情報也多岐にわたりますが、
 このように書面で、文章を読むことで考えを自分
 なりに持つきっかけになり、理解や納得の度合も
 違う気がします。今後は、私立の幼稚園でも、働
 くママへのサポートなどを記事にさせていただくと
 有難いです。

今後ママと子ども、そして社会全体が明るく
 温かくなる特集をお願いします！！

(大阪府保護者)

子どもの発する言葉が楽しみに

PTAしんぶんのつぶやきことばをいつも楽し
 く読んでいます。今は子どもの発する言葉や、子
 どもが気持ちを表してくれることがとても楽しみ

になりました。

先日、雨の日にバスを待っているときに「雨は
 いやだね」と話していたら、「雨は道路のお掃除
 をしているんだよ」とニコニコしながら話してく
 れました。

(山口県保護者)

★ ★ ★

「全日私幼連 PTA しんぶん」は「子
 どものしあわせを願う親と先生のひろ
 ば」としての役割を果たしています。

PTA しんぶんを希望される幼稚園は、
 (公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究
 機構までお問い合わせください。

☎ 03-3237-1957

(公財) 全日本私幼研究機構・調査広報委員会

地震対策は お済みですか？

耐震補強実績
 木造 1,800棟
 非木造 3,500棟
 達成

補助金を利用できます！

私立幼稚園施設整備費補助金(文部科学省)
 申請により、要件を満たす建物の耐震工事
 についての補助金

補助額 全体費用(設計+工事)の

最大50%

耐震補強の専門スタッフが疑問にお応えします。

- 園児を地震から守るために！
- 園児の保護者が安心できるように！
- 建て替えまでの応急処置に！

外付け施工なので工事中も普段通りに使用可能

通風・採光・出入り
も今まで通り

公的機関の
技術評価取得

補助金対象工法



木造幼稚園



鉄筋コンクリート造 幼稚園

お問い合わせ、資料請求は



0120-260-220

〈受付時間〉
9:00~17:00

ウッドピタ

検索

株式会社ピタコラム

☎ ウッドピタ事業本部

(株)ピタコラムは矢作建設工業(株)(東証一部上場)の100%子会社です。

Jim Grieve カナダ オンタリオ州教育省 乳幼児教育担当 副大臣／講演概要

未来を担う子どもたち ～幼児の発達に関する国際的研究動向と実践～

(公財) 全日私幼研究機構 縦断研究チーム 平林 祥

■幼児期の発達指標

幼児期の発達指標（EDI）について説明します。この指標は、15年前に開発されたもので、カナダで広く使われており、就学する1年前に検査を受けます。「身体的な健康と幸せ」「社会的能力」「情緒的な成熟」「言語と認知発達」「コミュニケーションスキルと一般的知識」の5分野について、リスクの有無を調べます。5つの分野のうち1つにリスクを持っていたとしても、取り返しがつかないわけではなく、子どもと根気よく関わり支援することができます。しかし、2つ以上の分野でリスクを持つ場合、その状況を改善することは非常に難しくなり、また必要な費用も大きくなります。

国際的なネットワークでECEC（乳幼児保育）の

課題として捉えているのは、世界中のECECで子どもたちがどのように過ごしていて、それがどのような形で育ちとして測ることができるかということです。測定される育ちが何であるべきかについても、育ちを全て捉える指標が何かについても、各国で合意できることは今のところ多くありません。EDIは一つの例で、完璧なものではありません。それゆえ、日本をはじめOECD加盟国の代表者たちが、適切な成果指標の模索に焦点を合わせ続ける必要があることを強調しなければなりません。

■幼児教育への投資

幼児教育にはお金がかかりすぎる、と言う人は必ずいます。それでも、充分に見込みのある投資だと

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415
フリーダイヤル

園ぴゅう太のメールサービス



らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

ぜ～んぶ学研に
おまかせ!!

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
キャラクター
ロゴ

Flashで
動画！

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。

私が考える理由を紹介します。

ノーベル経済学賞を受賞したシカゴ大学のジェームズ・ヘックマンの研究によると、質の高い幼児教育への投資は、子ども本人や家族だけでなく社会全体へのメリットも含めて、約7倍の投資効果があると言われています。ヘックマンの影響を受けた他の研究では、最大17倍の投資効果があるというものもあります。「100万円を投資すれば、必ず7倍にして返す」という話があれば、断る手はありません。

■オンタリオ州での全日制幼稚園導入の効果

EDIの指標を用いて、全日制の幼稚園への投資の有効性を証明するデータを紹介したいと思います。二つの大学の協力を得て、全日制の導入の初日から2年間、質的・量的な調査を行いました。オンタリオ州で小学校1年生にあがる子どもの27%が、EDIの5分野の少なくとも1つにリスクを抱えていることが調査で明らかになり、それが全日制の幼稚園を導入するきっかけになりました。

全日制に2年間通うことで、少なくとも1分野にリスクを抱える子どもは20%にまで減少しました。統計的には、2%で十分に大きい効果と言われていたので、7%というのは非常に素晴らしい結果です。分野別に見ると、「言語と認知発達」では2年間で15.8%から4.3%と非常に大きなリスクの



減少を達成しました。この結果を見た時は、椅子から転げ落ちるほど驚きました。「社会的能力」では2年間で10.5%から5.8%に、「コミュニケーションスキルと一般的知識」でも2年間で10.5%から5.8%へとそれぞれ約半分にリスクを抑えることが出来ました。

私は、月に最低2回は幼稚園へ行き子どもたちの姿を見に行きます。全日制の幼稚園を実施することで、子どもたちは自信に満ちあふれて活動し、自らの言葉を発している様子がよく分かります。

(つづく)

秋田喜代美先生の3部作

各巻B6上製判
定価：本体
1,200円(税別)

L66600

保育の心もち

秋田 喜代美

見直してみませんか、保育で大切なこと……

保育の心もち

保育に携わる姿勢・「心もち」をさまざまな視点からわかりやすく解説。すべての保育者のための目めくりカレンダーのような優しい本です。

L66900

保育のおもむき

秋田 喜代美

見直してみませんか、保育の中で育ちあう姿……

保育のおもむき

何気ない保育の場面や子どものようすから、筆者が心動かされたことや、環境を通して行なう教育としての日本の保育の良さ、それぞれの園がかもし出す「おもむき」を味わえる。保育に携わるすべての人の心に響くコラム集です。

L65800

保育のみらい

秋田 喜代美

見直してみませんか、保育のいまをこれから……

保育のみらい

保育制度改革の真の意味を問う書き下ろしを含む、いつもの保育にプラスになる珠玉のアンソロジー！ 保育の大切さが伝わる、読みやすくまとめられた日本教育新聞他の連載を中心に単行本化したものです。

ひかりのくに株式会社

本社／〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社／〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

遊びに焦点をあて、保育の質の向上を図る

○永田陽子（日本女子大学附属豊明幼稚園） 田苗孝子（宝仙学園幼稚園）

柳田清香（宝仙学園幼稚園） 町山太郎（まどか幼稚園）

【目的】

子ども・子育て新システムによって設置された子ども・子育て会議では今後の幼児教育に関わる議論が重ねられており、幼保の垣根を越えた新たな保育システムが検討されている。しかし、どのような保育システムになろうとも、それぞれの園が幼児教育の質をより高めていくことは不易なことである。国外では2012年のOECDの報告で保育の質の担保の必要性について言及されており、国内では日本保育学会課題研究委員会において質の高い遊びに関する研究が継続的に行われ、国内外での保育の質に対する関心の高さがうかがえる。

ところで、日本の幼児教育を担う幼稚園に就園する幼児の大部分は私立幼稚園に在籍している。私立幼稚園は幼稚園教育要領に基づいて幼児教育を行うがその一方で、建学の精神を背景に独自性に富む保育内容を行っている。そうであれば、各園によって保育の質をどのように捉えているかが異なることも考えられる。保育の質の評価方法については、SICSやPEMQなどが開発されているが保育実践に導入している園は一部に留まっている。

このような背景から、客観的な保育の質の評価をしていく以前に各幼稚園が保育の質についてどのように捉えているか明らかにすることは今後保育の質について共に議論する上で有用であると考えた。そこで本研究では、幼稚園教育要領に「幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心として第2章に示すねらいが総合的に達成されるようにすること」と示されているように保育における遊びの重要性を鑑みて、遊びに焦点をあて保育の質に関する意識調査を行うことを目的とした。

【質問紙調査】

東京都私立幼稚園連合会の教育研究委員会・経営委員会・広報委員会・振興対策委員会計87園に対して質問紙調査を行った。質問紙の内容は「あなたにとって質の高い保育は何ですか？」、質問2「どのような子どもの姿を見て遊びの質が高いと思いますか」の2問について自由記述で回答を求めた。予備調査を行ったところ、役職や保育年数等の回答者の属性によって内容の偏りは見られなかったため、回答者の属性は問わずに回答を求めた。87園中43園（49.4%）から回答を得たが、1園で複数人の回答があった園もありそれら全てを分析対象としたため計58回答を分析した。

そして回答ごとに、東京都私立幼稚園連合会教育

研究委員会の複数人の担当委員で読み合わせを行い、自由記述の回答を端的な文言にまとめた。その後共通性の高いと考えられるものごとにまとめ、グループ名をつけた（写真1）。



写真1

その結果、質問1の質の高い保育については、「保育者の専門性の向上」、「遊びの援助」、「保育方法」、「環境」、「主体性」、「人間関係」、「子どもの育ちの力」の7つに分けられた。また質問2の質の高い遊びは「環境との関わり」、「子どもの姿」、「遊びの発展」、「友達関係」、「解決力」、「意欲充実」の6つに分けられた。一部の園からの回答ではあるものの、東京都の私立幼稚園がどのような観点から自園の保育の質を捉えているか理解することが出来た。また質問紙で「質の高い遊び」について具体的なエピソードを問うことで、個々の遊びの質が高いかどうかということではなく、回答者や各園が遊びの質を高めるために意識していることを捉えることが出来た。また、本研究発表者らが他園の保育への理解や、協議の中で本研究発表者ら同士の保育の質および質の高い遊びへの理解が深まったことは有意義であった。

【事例と口頭発表当日】

質問紙調査の結果の報告と共に一斉活動場面の保育の事例発表を行い、それらを踏まえ会場参加者との協議を行った。事例は、「自分の意見を伝えたり、相手能権を受け入れたりしながら遊ぶ中で、思いが通じる心地よさや仲間と協力する楽しさ、協力して作った達成感などを経験できるようにする」という意図から一斉活動で木製積木の一種であるカプラを行うというものであった。具体的にはグループごとにどれだけ高く積み上げられるかを指すもので、子どもたちの様子や保育者の援助について報告がされた。会場発表者らとの協議の中では、「質の高い遊び」を定義することの難しさについて話題になり、さらに「遊び」そのものの定義において子どもの主体性をどのように位置づけるかといった議論が活発にされた。

遊びの援助

- ・諦めず最後までやりぬる気持ちをもつ
- ・子どもが自ら遊びを発展していける援助
- ・子どもが遊びを楽しみ発展させていく保育
- ・臨機応変に遊びを展開していく
- ・子どもと一緒に楽しむ
- ・遊びの中で子どもが感じている事を読み取る援助
- ・個性を存分に生かす
- ・子どもの発見や驚きを広げ深める
- ・発達に即した課題を子どもと共に高めしていく
- ・教育課程を理解し経験を積み重ねる
- ・興味や関心、発達段階に応じた遊び
- ・集団と自由な遊びとのバランスを大切に保育
- ・子どものイメージを尊重する
- ・保育者の考えのもと、子どもが主体となり活動できる保育

人間関係

- ・信頼できる仲間関係を築く
- ・寄り添い共に感動していく
- ・子どもの「なぜ?」「どうして?」質問に答えてあげる保育
- ・保育者との信頼関係ができていく
- ・仲間を思う気持ちを学んでいく保育

保育者の専門性の向上

- ・安全確保、緊急時の判断ができること
- ・保護者と保育者が良好な関係
- ・一人ひとりの発達の接領域を見極め必要最低限の援助
- ・応用性の高い保育を考える
- ・子どもが真似したくなるような態度、言葉使いを保育者が心がける
- ・保育者の専門性の向上
- ・常に教育的意義を意識した指導
- ・発達年齢や園のカリキュラム、子どもの育ちを踏まえた保育
- ・保育者が知識を持ち教える
- ・チームティーチング
- ・記録に取り入れ次の保育につなげる

質の高い保育

環境

- ・安心して生活できる環境
- ・色々な体験ができる環境
- ・子どもの体験を捉えて自発的な遊びを尊重する
- ・夢中になれる環境の保障
- ・子どもが安心して遊べる空間を整える
- ・子どもが主体的に遊びを進めていく
- ・子ども同士で遊びが展開していく保育
- ・遊びの継続発展できる環境を整える
- ・子どもの興味を育てる環境を整える

主体性

- ・楽しくと感じ自分でやってみようと思える保育
- ・自分達がやりたい事を実現させる援助
- ・やらせるのではなくやりたいと思える保育
- ・生き生きと行動している
- ・子どもが自ら取り組みようとする意欲が持てる保育
- ・安心して自己発揮できる
- ・子どもが達成感、満足感を感じている
- ・自分で考えて判断し行動できる力
- ・保育の主軸は子ども、その子に合った援助
- ・自分で考え工夫して挑戦する力を養う援助

保育方法

- ・保育者のねらいの達成
- ・幼稚園が大好きで子どもらしい子どもを育てる
- ・子どもの発達理解と共感を持って適切に働きかける
- ・子どもの特徴発達に合わせた対応(環境)
- ・発達に必要な経験が豊かに得られる
- ・全てにおいて子どもの為になっている環境
- ・子どもの気持ちに寄り添う保育
- ・子どもの視点を大切にすること
- ・子どもの思いをくみ取り形にする
- ・叱らず導く
- ・見通しを持って保育する
- ・集団と個別の対応
- ・成長に必要な援助をしていく
- ・総合的バランスが取れた保育
- ・生活習慣をきちんと伝える保育
- ・気持ちを否定しない保育
- ・色々な体験ができる様工夫した保育
- ・個々に合った関わり、援助を考える

子どもの育ちの力

- ・子どもが幼稚園が楽しいと思う
- ・子どもが笑顔
- ・みんなで力を合わせる大切さ
- ・工夫できる力につながる保育
- ・発想を伸ばす保育
- ・友達と遊びや生活を進めて行ける力がつく
- ・一つの目標に向けて団結できる保育
- ・楽しみながら生きる力を身に付ける
- ・自己肯定感や他者との関わりを理解できる環境を用意
- ・自立できる樹に援助していく
- ・みんなで取り組む協調性
- ・自らが気づき成長していける援助
- ・子ども一人ひとりの今を理解し、より良い成長につなげる保育
- ・一人ひとりを尊重する
- ・後伸びする力を育てる

子どもの姿

- ・瞳が生きて生きている
- ・発達にそった姿
- ・子どもの成長が見える
- ・意欲に満ち溢れている表情
- ・笑顔

意欲充実

- ・充実感や達成感を感じている
- ・夢中で取り組む
- ・真剣に物事に取り組み、発見を喜ぶ姿
- ・心が満たされ充実して遊んでいる
- ・集中力のある
- ・意欲的、自発的に遊びを進める
- ・目的を見つけて取り組む

質の高い遊び

友達関係

- ・友達の気持ちをくみ取る姿
- ・異年齢の交流がある
- ・友達との関わりの中で自己発揮する
- ・友達との関わりを楽しむ
- ・一緒にいい!
- ・共に行うことで共通理解を深める
- ・イメージを友達に伝えて楽しむ
- ・工夫、提案のできる仲間関係
- ・イメージを共有し遊びを進める
- ・役割が機能している
- ・自分達で考え行動している

環境との関わり

- ・廃材を自分なりに活用する
- ・周囲の環境から刺激を受けたり与えたりしている
- ・興味を持った事を環境に取り入れて遊ぶ
- ・環境を活かして遊ぶ

遊びの発展

- ・見立て遊びから想像
- ・自らより難しくして遊ぶ
- ・アイディアの広がりから遊びの広がり
- ・感性、創造性を豊かに発揮し遊ぶ
- ・創造的につくり出していく
- ・違う視点を取り入れて遊ぶ
- ・自分達でルールを作って遊ぶ
- ・子ども同士話し合いをして発展させる
- ・相談しながら遊びを発展させる
- ・協調性を持って遊びを展開する
- ・話し合ったり工夫し合ったりして遊びを進める
- ・繰り返し遊ぶ体験の積み重ね
- ・意見を出し合って展開する遊び
- ・教えて貰った事が遊びに展開していく
- ・子ども同士で遊びを発展
- ・意見を出し合って発展する
- ・イメージを具体化しながら繰り返し広げる
- ・工夫が加わって発展していく
- ・遊びの継続発展
- ・全体での活動から個々の活動への深まり
- ・自分で考えて物をつくる

解決力

- ・挑戦し成し遂げていく
- ・問題解決
- ・試行錯誤し挑戦していく
- ・トラブルがあっても遊びが続けられる
- ・アクシデントを自力で乗り越えようとする

◆政府 子ども・子育て会議

子ども・子育て会議（第 14 回会合）、
基準検討部会（第 18 回）合同会議が開催

公定価格の骨格案が了承される

平成 26 年 3 月 28 日（金）、政府の子ども・子育て会議（第 14 回会合）、基準検討部会（第 18 回）合同会議が開催され、全日私幼連から【北條泰雅】副会長が出席しました。

公定価格の骨格案・全体イメージについては、

1. 幼稚園・保育所の設置基準等を基に、現行の私学助成等により実施している施設等の運営の実態等を踏まえた上で、消費税財源による「質の改善」を反映した骨格を設定。（これを基に 5 月頃に仮単価として提示）
2. 「質の改善」は、消費増税分から充当される「0.7 兆円」程度の財源を前提として実施すべき質の改善項目と、「1 兆円超」程度の財源を前提として実施すべき質の改善項目を整理。「1 兆円超」程度の財源のうち消費増税分から充当される「0.7 兆円」程度の財源との差の 0.3 兆円超程度の財源については、引き続き予算編成過程で確保に取り組むものであり、財源の確保と合わせて本案の質の改善項目についても更なる充実が図られていくことになる。

また、基本額（1 人当たりの単価）については、

1. 共通要素①：地域区分別（7 区分）、利用定員別（17 区分等）、認定区分、年齢別、保育必要量別（2・3 号）
2. 共通要素②：人件費、事業費、管理費
3. 各種加算等：職員の配置状況、事業の実施体制、地域の実情等に応じて加算等

基本額（1人当たりの単価）	
共通要素①：地域区分別（7区分）、利用定員別（17区分等）、認定区分、年齢別、保育必要量別（2号・3号）	
共通要素②：人件費、事業費、管理費	

各種加算等
職員の配置状況、事業の実施体制、地域の実情等に応じて加算等

<教育標準時間（1号）認定>

地域区分	定員区分	認定区分	年齢区分	教育標準時間
□/100 地域	□□人 ～ △△人	1号	4歳以上児(30:1)	円
			3歳児(20:1)	円

※事務職員(2日分)追加

<保育標準時間・短時間（2号・3号）認定>

地域区分	定員区分	認定区分	年齢区分	保育必要量	
				保育標準時間	保育短時間
□/100 地域	□□人 ～ △△人	2号	4歳以上児(30:1)	円	円
			3歳児(20:1)	円	円
		3号	1・2歳児(6:1)	円	円
			0歳児(3:1)	円	円

※保育標準時間:保育士1人、非常勤保育士1人(3時間)追加

※研修代替要員費を追加

主な加算(例)	
職員配置加算(3歳児)	円
主幹教諭等専任加算	円
(+子育て支援活動費)	円
処遇改善等加算	+ __%(加算率・3%充実)
小学校接続加算	円
第三者評価受審加算	円
除雪費加算	円
降灰除去費加算	円

主な加算(例)	
職員配置加算(3歳児)	円
主任保育士専任加算	円
(+子育て支援活動費)	円
処遇改善等加算	+ __%(加算率・3%充実)
小学校接続加算	円
第三者評価受審加算	円
減価償却費等加算	円
除雪費加算	円
降灰除去費加算	円

なお、詳細な資料につきましては、内閣府ホームページをご参照ください。

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kodomo_kosodate/k_14/index.html

また【北條泰雅委員】から「公定価格の骨格を了解し、先に進めるためには、4つのポイントについての政府の取り組みを明確にする必要がある」という趣旨の発言があり、以下の回答を蝦名課長（文部科学省幼児教育課長）、定塚課長（厚生労働省雇用・児童家庭局総務課長）から得ました。

◆委託費に関して

○北條委員

私立保育所は、従来どおり委託費の形で運営できる上に、新制度の施設型給付の対象とされ、消費税財源による質改善の内容が盛り込まれるが、私立幼稚園は、従来どおり私学助成を受けて運営することを選択する園には、消費税財源がもたらされることはなく、公平ではない。

私立幼稚園についても、従来どおり私学助成の形で消費税財源を得ることができるようにすべきと考えるが、当面、従来どおり私学助成を選択する幼稚園に対する財政措置が、施設型給付を受ける幼稚園と同程度となるようにすべき。

○蝦名・幼児教育課長

私立幼稚園には、新制度の下で市町村事業計画の実現に役割を果たし、市町村から施設型給付を受ける選択肢と、従来どおり、施設型給付でなく私学助成等による財政支援を受ける選択肢とがある。

施設型給付を受けない幼稚園については、法案審議の際の衆参両院の附帯決議を踏まえ、私学助成及び幼稚園就園奨励費補助の充実に積極的に努めてまいりたい。

◆預かり保育に関して

○北條委員

幼稚園が行う預かり保育は、教育活動であると同時に児童福祉法上の「保育」に該当するものであり、多くの私立幼稚園が実施していることから、確実な実施が担保され、質の向上が図られるようにするため、施設型給付の対象に位置づけ、支援を充実すべき。

○蝦名・幼児教育課長

幼稚園が行う預かり保育については、新制度の下では、市町村が実施主体となる一時預かり事業として確実に実施されるよう、市町村に要請してまいりたい。

市町村による実施が確保できない場合や、施設型給付を受けない私立幼稚園に対しては、現行と同様、私学助成を受けながら預かり保育が引き続き実施できるよう、附帯決議を踏まえ、その充実に努めてまいりたい。

◆3歳未満の子どもを家庭で支援している保護者に対する支援に関して

○北條委員

3歳未満の子どもを家庭で養育している保護者に対する支援が不十分。今後、重点的に充実を図っていくべき。

○蝦名・幼児教育課長

就労の有無や状況にかかわらず、子育ての負担や不安、孤立感が高まっている中、幼稚園・保育所等で教育・保育を受けている子どものみならず、家庭で養育している保護者に対する支援の充実は非常に重要な課題であると認識。今後、支援を一層充実させてまいりたい。

◆ワーク・ライフ・バランスに関して

○北條委員

ワーク・ライフ・バランスの取り組みが十分進んでいないまま新制度がスタートすることは適当でない。車の両輪としてしっかり進めていくべき。

○定塚・厚労総務課長

子ども・子育て支援施策の充実とワーク・ライフ・バランスの実現とをともどもに進めることが重要。このため、労働政策審議会における議論を踏まえ、

- ・ 男女の育児休業の取得を更に促進するため、育児休業給付を半年間50%から67%に引き上げるなどの雇用保険法の改正法案を国会に提出し、本日可決していただくとともに、
- ・ 育児休業の取得促進や働き方の見直しに資する、次世代育成支援対策推進法の延長・強化の法案を国会に提出し、ご審議いただいている

など、様々な仕事と家庭の両立支援の取り組みを進めている。

今後とも、子ども・子育て支援施策の充実とワーク・ライフ・バランス実現とを車の両輪ととらえ、関連施策の充実に努めてまいりたい。

本連合会としては、これらは、私立幼稚園の置かれている状況、私立幼稚園の思いに対する一定の理解を示すものであると判断し、公定価格の骨格案を了承しました。

これから議論される仮単価の積算についても、引き続き私立幼稚園の立場を主張してまいります。

[今号は3枚]

『5 歳児から義務教育 文科省方針』との 産経新聞（2014 年 6 月 4 日朝刊）報道について

平成 26 年 6 月 4 日朝刊の産経新聞によりますと、文部科学省は、幼稚園や保育所などの最終学年を無償化し、義務教育とする方向で最終調整に入ったなどとする報道がなされました。

この新聞報道によれば、『幼保最終学年の義務化は、基礎学力を早期に身につけさせることなどが狙いで、幼保の枠組みを維持したまま、小学校生活にスムーズに移行できるように改革する。現在 6 歳からの小学校入学年を 5 歳に引き下げる案も一部で検討されたが、経営悪化を懸念する幼保団体などからの反発も予想され、文科省は現行の幼稚園、保育所、こども園などの枠組みを維持したまま、最終学年の 5 歳児のみを無償にすることで義務教育化する方針を固めた。政府の教育再生実行会議が 7 月にもまとめる学制改革の提言に盛り込まれる見通し』との内容となっています。

全日私幼連では、早速このことについて文部科学省に問い合わせた結果、「学制の在り方については、現在、教育再生実行会議において議論が行われているところであり、文部科学省として、5 歳児を義務教育化するという方針を固めた事実はない。」との回答を得ましたので、ご連絡いたします。

なお、現在、教育再生実行会議において学制改革の在り方について検討が行われており、今後提言が行われる予定となっておりますので、全日私幼連としては、香川敬会長を中心に、幼児教育の無償化の実現について要望活動を行うなど引き続き関係者への働きかけを行ってまいります。

〔今号は 1 枚〕

『子ども・子育て支援新制度』
エクセルファイル形式の公定価格・試算ソフトが完成
文部科学省・厚生労働省「幼保連携推進室」

この度、平成26年5月26日 第15回子ども・子育て会議・第20回基準検討部会合同会議においてとりまとめられた公定価格の仮単価をもとに、文部科学省より『子ども・子育て支援新制度の公定価格の試算ソフト（エクセル形式）』が発表され、次の認定こども園（幼保連携推進室）ホームページ（下記 URL 参照）に掲載されましたのでお知らせいたします。

【幼保連携推進室】

<http://www.youho.go.jp/index.html>

平成26年6月10日 幼稚園版・保育所版・認定こども園版 Ver. 1.0.0（初版）

【参考資料】

◆公定価格・試算ソフト内の文言等の説明は、次の資料をご参照ください。

（1）公定価格の骨格について（詳細版）

（平成26年5月26日第15回子ども・子育て会議・第20回基準検討部会合同会議／参考資料2）

※本資料中「前回資料」とは＜下記の（2）公定価格・利用者負担の主な論点＞です。

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kodomo_kosodate/k_15/pdf/ref2.pdf

（2）公定価格・利用者負担の主な論点について

（平成26年4月23日開催の子ども・子育て会議基準検討部会（第19回）／参考資料3）

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kodomo_kosodate/b_19/pdf/ref3.pdf

（3）公定価格に関するFAQ（よくある質問） Ver.1（平成26年6月4日時点 Excel 版）

（平成26年6月4日子ども・子育て支援新制度説明会 資料2-4）

※本資料内P17以降に＜子ども・子育て支援新制度における「地域区分」＞一覧表があります。

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/administer/setsumeikai/h260604/pdf/s2-4.pdf>

◆公定価格・試算ソフトの操作画面イメージは、次の資料をご参照ください。

○公定価格の試算ソフトについて・園児一人当たりの年間収入で公定価格と現行収入を比較する方法（例）

（平成26年6月4日子ども・子育て支援新制度説明会 資料2-5）

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/administer/setsumeikai/h260604/pdf/s2-5.pdf>

〔今号は1枚〕

◆子ども・子育て支援新制度

「子ども・子育て支援法施行令の公布について(通知)」が発出

附則 6 条園(旧 102 条園)の新制度における取扱いが明記される

内閣府・文部科学省・厚生労働省の3府省は、6月18日(水)に「子ども・子育て支援法施行令の公布について(通知)」文書を、各都道府県知事部局等へ発出しました。本通知文には、これまで不明であった【附則6条園(旧102条園)】の新制度における取扱いが明記されました。詳しい内容は、次のとおりです。

~~~~~

- 附則6条園も、新たな幼保連携型認定こども園に移行可能(改正認定こども園法附則第4条)
- 子ども・子育て支援法による確認(=施設型給付の対象)を受けられる設置主体は、子ども・子育て支援法の本則上は法人(宗教法人、社会福祉法人、一般財団法人等も含む)に限定(子ども・子育て支援法第31条)
- ただし、新制度施行時に存在する幼稚園は、事前に別段の申出をしない限り、みなし確認を受けることが可能(子ども・子育て支援法附則第7条)
- また、経過措置として、附則6条園が新制度施行後に認定こども園に移行する場合、以下のパターンについて確認を受け、施設型給付を受けることが可能(子ども・子育て支援法施行令附則第7条)
- ① 新制度施行時に個人立幼稚園としてみなし確認を受け、その後、個人立幼稚園型認定こども園や個人立幼保連携型認定こども園になるパターン(子ども・子育て支援法施行令附則第7条第2号・第4号)
- ② 新制度施行時に個人立幼稚園としてみなし確認を受けず、その後、個人立幼保連携型認定こども園になるパターン(子ども・子育て支援法施行令附則第7条第4号)

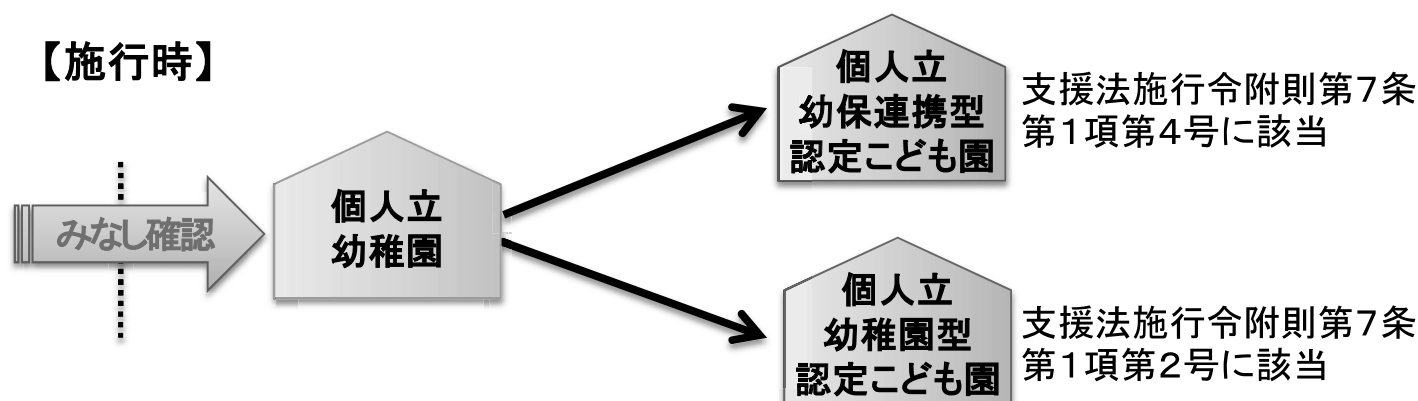
※ 幼保連携型認定こども園に移行する場合は、みなし確認の有無は問われないが、幼稚園型認定こども園に移行する場合は、みなし確認を受けていることが必要。

[今号は2枚]

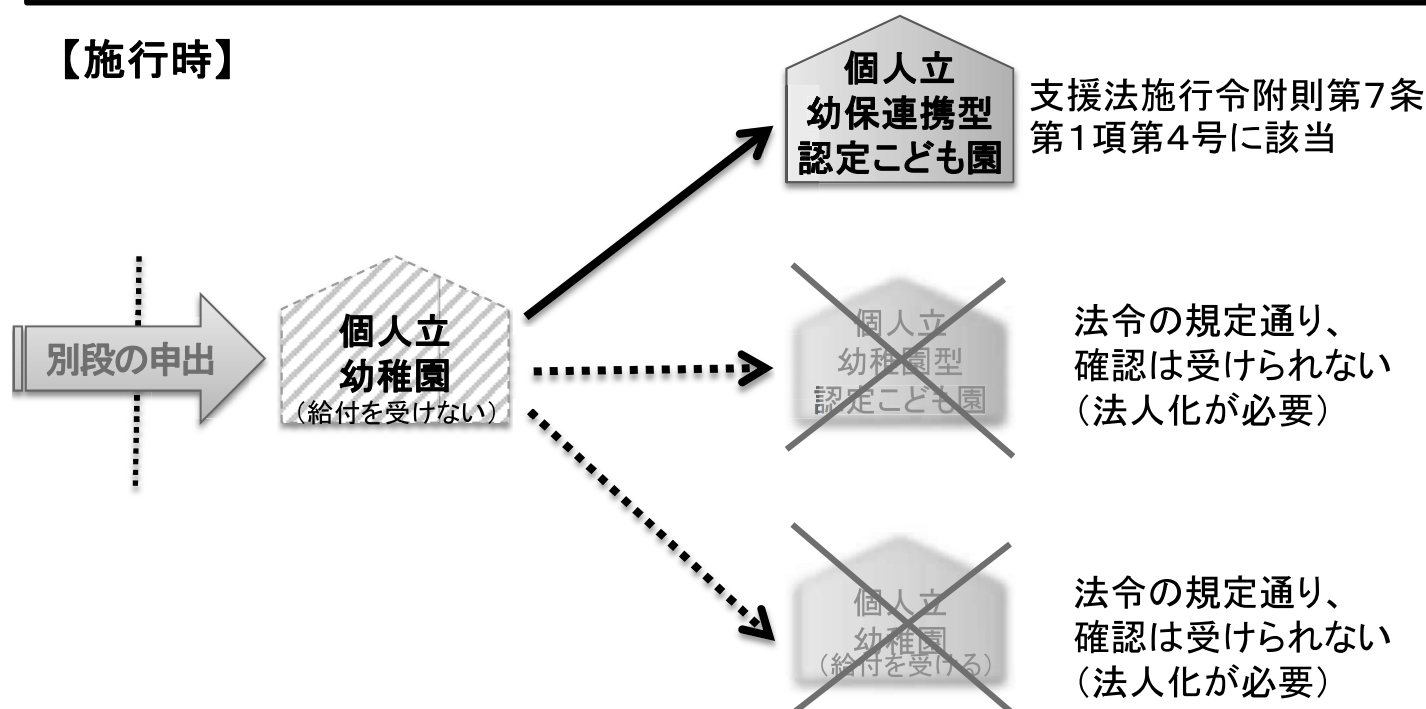
## 新制度における附則6条園の取扱い

- 附則6条園も、新たな幼保連携型認定こども園に移行することが可能。  
→(改正認定こども園法附則第4条)
- 確認を受けられる設置主体は、本則上は法人に限られている。  
→(子ども・子育て支援法第31条)
- ただし、新制度施行時に存在する幼稚園はみなし確認を受けることが可能。  
→(子ども・子育て支援法附則第7条)
- また、経過措置として、附則6条園が新制度施行後に施設の区分を変更する場合、以下のパターンについて確認を受けることが可能。  
→(子ども・子育て支援法施行令附則第7条)

### 新制度移行時にみなし確認を受ける場合



### 新制度移行時にみなし確認を受けない場合



## ◆経済財政運営と改革の基本方針 2014・閣議決定

## 「幼児教育の無償化」が骨太の方針 2014 に盛り込まれる

政府は、6 月 24 日、経済財政諮問会議の答申を受けて、「経済財政運営と改革の基本方針 2014 (骨太の方針)」を閣議決定しました。会議で安倍首相は関係閣僚に、「結婚、妊娠、出産、育児への切れ目ない支援が重要。強力に推進してほしい」と指示し、国の予算を育児分野にこれまでより重点的に配分し、第 3 子以降の子どもを産み育てやすくする方針とのことです。

「経済財政運営と改革の基本方針 (骨太の方針)」の内容は、次のとおりです。

## 第2章 経済再生の進展と中長期の発展に向けた重点課題

## 1. 女性の活躍、教育再生を始めとする人材力の充実・発揮

## (2)教育再生の実行とスポーツ・文化芸術の振興

(教育再生)

「第 2 期教育振興基本計画」等に基づき、幼児教育の無償化に向けた取組を財源を確保しながら段階的に進める。

## (4)少子化対策

子ども・子育て支援新制度を平成27 年 4 月に施行する方針の下、取り組む。また、本制度に基づく幼児教育・保育・子育て支援の量的拡充及び質の向上を図るための財源の確保については着実に進め、消費税分以外も含め適切に対応していく。

(参考)

「第2期教育振興基本計画」(平成 25 年 6 月 14 日閣議決定)

## 【主な取組】

## 17-1 幼児教育に係る教育費負担軽減

- ・保護者の所得状況に応じた経済的負担の軽減等を目的として、保育料等を軽減する就園奨励事業を実施する地方公共団体に対し、所要経費の一部を補助する幼稚園就園奨励費補助を引き続き実施することにより、幼稚園への就園を推進する。

また、子ども・子育て支援法等に基づく新たな制度の構築により、幼稚園、保育所、認定こども園を通じた共通の給付を創設する際には、保護者の所得状況に応じた経済的負担の軽減が図られるものとなるようにする。この状況も踏まえつつ、幼児教育の無償化への取組について、財源、制度等の問題を総合的に検討しながら進める。

[今号は 1 枚]

## 平成26年度 こどもが まんなかPROJECT

子どもの立場に立って“社会全体で子どもたちのことを考えたい”。

私たち私立幼稚園がそのきっかけをつくり、「こどもが まんなか」の社会づくりに向かって、皆さんと考え、議論したい。その動きを生み出せるよう平成21年度、私たちは「こどもが まんなかPROJECT」をスタートさせました。

現代の子どもたちをめぐる社会環境を考慮し、今後の国の子育て支援策などを踏まえ、子どもの健全な心身の成長を助け、持続可能な社会づくりを目指します。私たち私立幼稚園がそのきっかけをつくり、「こどもが まんなか」の社会づくりに向かって、平成26年度「こどもが まんなかPROJECT」をさらに充実させていきます。

### こどもの権利

- ・「子どもの権利条約」小冊子の保護者への普及を図ります。(園、PTA大会を通して)
- ・「子どもの権利」をテーマに、園の教育者や保護者または教育関係者(小学校や保育所の教職員)を対象に講師を派遣しセミナーを開催します。
- ・「子どもの権利」を広く一般に周知・徹底を図ります。

### 共生・国際的支援活動

- ・「いのちを大切にする日」にいのちを大切にすることを学び、考える
- ・東日本大震災支援活動
- ・国際的支援活動「世界の子とお母さんの命を守る」ために、日本だけでなく世界のために貢献する活動を展開します。
- ・文化人・有識者との共同活動



こどもが  
まんなか  
PROJECT

シンボルマーク

### 日本文化、地域文化、 各国文化の学び・継承

- ・日本の風土に基づいた催事、和食文化に触れる機会をつくれます。
- ・地域に根差した文化を学び、地域とこども、世界とこどもを結ぶ活動を目指します。

### こどもと家族の健康

- ・子どもと家族が健康で快適であるために生活づくりを応援する情報を発信します。
  - \* 地区別/都道府県PTA大会でのパッケージセミナー開催
  - \* 園単位でのセミナー開催

### こどもが まんなか生活

- ・神戸に引き続き、「こどもが まんなかPROJECT」イベントを開催。幼稚園一企業一街、行政、有識者、メディアがタイアップ。「こどもが まんなか生活」の喜びや楽しさを体験。発見できる場とします。
- ・「こどもが まんなか」の生活を応援する情報を発信します。
  - \* 地区別/都道府県PTA大会でのパッケージセミナー開催
  - \* 園単位でのセミナー開催
- ・社会全体で「ワーク・ライフ・バランス」の充実を図ります。

### 連携・共有

- ・各都道府県の私立幼稚園団体・私立幼稚園PTA団体と連携した活動
- ・『私幼時報』『PTAしんぶん』『私立幼稚園.com』による広報活動
- ・各都道府県のPTA大会等で活用いただける「セミナーパッケージ(セミナーや啓発資材)」をつくります。

### 社会への普及啓発活動

- ・マスメディアへの広報活動
- ・サポーター企業懇和会の開催
- ・サポーターシップ活動
  - \* 幼稚園保護者からの募金
  - \* 個人や企業からの募金
  - \* バッジやグッズによる寄付
  - \* ロゴマークを使った寄付
  - \* 企業との連携事業
- ・他団体との連携・タイアップ



## 知事と語ろう幼児教育

去る5月24日、一般教諭研修会に合わせて「知事と語ろう幼児教育」と題し、阿部守一長野県知事と幼稚園教諭200名の懇談会を開催した。冒頭、知事より、私立幼稚園とは他分野に比べ制度上距離があったが、暮らし全体の中で幼稚園や子どもたちをどう考えるかという時に、皆さんの存在は不可欠である。子どもたち一人一人が前向きに元気で育つ長野県を一緒に作っていきましょうと挨拶があった。その後、4名の幼稚園設置者及び教員から話題提供として、少子化に伴う園児減少と免許更新制や新卒者の都市部への流出などで教員確保も困難であると問題提起を受け、少子化対策は本腰を入れて取り組まなければならない、子育てし易い長野県を目指す中で、子育て環境を整えるにあたり私立幼稚園に大いに期待し協力を要請したいと語った。

また教員の多くが県内出身者であることから、新卒者雇用の受け皿としての私立幼稚園を活用していきたいとも話した。フロアーからも教員の日常の様子があげられ、教員の処遇改善を行っていく事が、子どもたちのよりよい育ちに繋がるので取り組んでいきたいとした。特別な支援を要する子どもへの対応では、幼稚園教諭が日々暗中模索しつつも、全力で取り組んでいる様子を知ってもらった。これに関しても、今後加配等具体的な支援のあり方をしっかりと検討したいと話した。

今回の懇談会は、知事に幼児教育の現場を知ってもらい、教職員の奮闘ぶりを理解して頂く絶好の機会となった。また知事へ直接声を届け、理解を示していただいたことで、今後の私立幼稚園全体の活力となり得る非常に有意義な時間となった。

(一般社団法人長野県私立幼稚園協会副理事長、長野市・若穂幼稚園／和田典善)

## 就職キャラバン

大分県では、幼稚園教諭を目指す学生を増やすために、県内の各養成校から授業時間を1コマいただき、私立幼稚園を紹介する事業、「就職キャラバン」を4年前より行っています。近年、県内の幼稚園では、教員の採用に関して苦慮しているという実態から、本事業を立ち上げました。

講演の内容は、大きく二つに分かれており、一つ目は県連組織について、また、県内全体での教職員の研修システム等についてです。二つ目は、ある園でのたくさんの写真を使って、日々の保育の様子を説明していきます。教員としてのやりがいや仕事を通しての感動や苦勞、スキルアップのために行われているさまざまな研修の様子等、数週間の実習だけではなかなか知ることのできないことを、先輩教員や園長からの実体験から伝えていくことで、学生からは毎回、好評を得ています。

短期大学では1年生、大学では2年生と、まだ進路を決めかねている学生には、初めて知る私立幼稚園の在り方に、まさに「目からウロコ」の役割を果たしているように感じています。実際に、学年が進み、進路希望が幼稚園教諭に変わった学生が多くなったという養成校もありました。

これからもこの「就職キャラバン」を続けていき、より多くの学生に幼稚園教諭の実態を伝えていき、やりがいのある職業として、幼稚園教諭を目指す学生を増やしていきたいと考えています。

(大分県私立幼稚園連合会理事、広報PTA委員長、大分市・やまばと幼稚園／山崎佐和子)

## 平成 26 年度 「家族の日」「家族の週間」

内閣府では、生命の大切さを次代に伝え育んでいくことや、家族の大切さ、家族を支える地域の力に対する国民の理解を深めることを目的に、「家族の日」「家族の週間」を定めて普及啓発に取り組んでいます。平成 26 年度の予定は以下のとおりです。

また、「家族や地域の大切さに関する作品コンクール」（応募は小学生以上）も実施されます。詳しくは内閣府のホームページをご覧ください。

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/family/index.html>

- 家族の日：平成 26 年 11 月 16 日（日）
- 家族の週間：平成 26 年 11 月 9 日～ 22 日

## 編集後記

もうすぐ楽しい夏休みです。子ども達は山や海、祖父母の家に家族一緒にお出かけする事を心待ちにしていると思います。

私たち設置者・園長は、「子ども・子育て支援新制度」の仮公定価格が出され、意向調査もあり頭の痛い夏です。保護者のためだけでなく、『子どもがまんなか』の幼児教育を強く訴え、私学の建学の精神を伝え続けることが使命です。少子化を解決し無償化を促進することも難問です！？

今、サッカーワールドカップで日本のサポーターの行動（善意）が注目されています。グループリーグは敗退でしたが、客席のごみをきれいに拾い“来た時よりきれいに帰る精神”に賞賛の声が世界中であがっています。日本人としては当たり前の心配りですが、日本の美徳として世界に広げていきたいですね。そしてこれこそ幼児教育の心持ちを育てていく重要性ではないでしょうか。（調査広報編集委員・梅澤真理）

## 平成 26 年度（第 6 回）免許状更新講習の認定一覧

●選択領域「教科指導、生徒指導その他教育の充実に係る事項」に関する免許状更新講習

| 講習の開催地  | 講習の概要                                                                                                                                                                                                                                                     | 担当講師                         | 時間数  | 講習の期間                                   | 受講数  | 認定番号               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------|-----------------------------------------|------|--------------------|
| 神奈川県横浜市 | 本講習では、障がいのある幼児に対する保育のあり方を考える中で、主に障がいのある子どもの理解を深めることを中心に講座を進めていきます。幼児理解を出発点として指導計画を作成し、日々の保育を振り返りながら、保育の質を高めることが特別支援のあり方を考えるために必要なことであると考えます。事例を検討しながら保護者への対応を考えていくことで、保護者と協力できる体制を作り、子どもの育ちに繋がるように配慮していくことが幼稚園教育に課せられた新たな課題です。以上のような課題を解決することを目的に進めていきます。 | 野本 茂夫（國學院大学人間開発学部子ども支援学科准教授） | 6 時間 | 平成 26 年 10 月 25 日、<br>平成 26 年 11 月 22 日 | 80 人 | 平 26-81340-57320 号 |



**くるんとバス**  
-通園バス位置情報システム-

**バス専用機不要！**  
**スマホで簡単バス運行管理！**

**いつもNAVI**

「いつもNAVI」動態管理サービスfor送迎バス（くるんとバス）は、株式会社ゼンリンデータコムの登録商標です。

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



**株式会社チャイルド社** インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15

ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>